

試験ブループリントガイド

Nutanix認定プロフェッショナル マルチクラウドインフラストラクチャー (NCP-MCI) 7.5試験



目次

作成者	3
寄稿者	3
1. 試験	4
1.1 試験の目的	4
1.2 問題数	4
1.3 受験料	4
1.4 合格スコア	4
1.5 目標と試験問題の関連性	4
1.6 言語	4
1.7 制限時間	4
1.8 試験のスケジュールリングおよび受験	5
1.9 認定トラック	5
1.10 再受験ポリシー	5
1.11 試験のセキュリティ	5
1.12 再認定	5
1.13 認定のメリット	6
2. 対象者	6
3. NCP-MCI 7.5試験で対象となる目標	7
3.1 はじめに	7
3.2 目標	7
セッション1 – マルチクラウド環境内のクラスタを管理する	7
セッション2 – マルチクラウド環境内のワークロードを管理する	11
セッション3 – マルチクラウド環境でDRとデータ保護を実行する	15
セッション4 – マルチクラウド環境で運用と監視を実行する	17
4. NCP-MCI 7.5トレーニングの推奨事項	20
4.1 コースの推奨事項	20
5. リソース	22
5.1 Nutanix Community Edition	22
5.2 テストドライブ	22
5.3 Nutanix Community	22
5.4 その他のマルチクラウドインフラストラクチャーに関するリソース	22

作成者

Jeff Hall マネージャー - 技術認定開発

寄稿者

Ariel Obando システムエンジニア

Bruce Heavner フィールドコンサルタント - Shyft Global

Chris McMahon アドバイザリーソリューションアーキテクト

Christophe Calvet, テクニカルアーキテクト兼創業者 - Calvet IT

Craig McDaniel, システム・セールス・エンジニア

Frank Mazzotti シニアコンバージドインフラストラクチャーエンジニア - CDW

Ivan Milijic テクニカルサポートシニアリード - HYCU

Jim Corder Enterprises International 創業者

Kenneth Fingerlos グローバルプラクティス - サービス担当ディレクター

Marco Fabbri - エンタープライズアーキテクト - Seranno

Maroane Boutayeb シニアスタッフカスタマーエクスペリエンスマネージャー

Matthew Gauch シニアスタッフエスカレーションエンジニア

Nitesh Singh シニアシステム信頼性エンジニア

Paul Monroe スタッフエスカレーションエンジニア

Rickard Wendel スタッフカスタマーエクスペリエンスマネージャー

Rob Buchanan アドバイザリーシニアシステムエンジニア

Ross Hunt シニアスタッフエンタープライズアーキテクト

Samuele Gerutti アドバイザリーシステムエンジニア

Shane Lyndsay アドバイザリーシステムエンジニア

Stephen Edge, プリンシパルコンサルタント

Suman Raja シニアシステム信頼性エンジニア - スペシャリスト

Todd Burris エキスパートシステムエンジニア - CSC

Vlad Glemb シニアスタッフコンサルティングアーキテクト

免責事項:

Nutanix認定プロフェッショナル - マルチクラウドインフラストラクチャー (NCP-MCI) 7.5試験ブループリントガイドは、NCP-MCI 7認定資格を取得するために習得する必要がある目標の概要について説明します。本ガイドは、Nutanixが受験者のNCP-MCI 7認定資格の取得を保証するものではありません。本ガイドの情報はすべて、Nutanixの単独の裁量により、随時変更される可能性があります。

1. 試験

1.1 試験の目的

Nutanix認定プロフェッショナル - マルチクラウドインフラストラクチャー（NCP-MCI）7.5試験は、文書化された標準を解釈し、Nutanixのマルチクラウド環境に関して、デプロイや、構成、移行、トラブルシューティング、拡張、および管理などの主な管理タスクを実行する受験者の能力を評価します。

1.2 問題数

NCP-MCI 7.5試験は、75問の選択問題（単一回答、複数回答）で構成されています。

1.3 受験料

NCP-MCI 7.5試験の受験料は、200米ドルです。

1.4 合格スコア

この試験の合格スコアは3000です。スケールドスコア方式（換算方式の採点法）が用いられます。スコアのスケールは1000～6000です。スケールドスコア（換算スコア）は、試験のバージョンごとの試験問題の数と種類など、さまざまな要素を考慮した数式を使用して算出されます。

問題の数や種類は、同じ試験でもバージョンによって異なる場合があります。そのため、受けた試験のバージョンに基づいて、スケールドスコア（換算スコア）で全員に公平なスコアを提示します。

1.5 目標と試験問題の関連性

目標は、試験が何を評価することを目的としているかを要約したものです。目標は、Nutanixのマルチクラウドプラットフォーム環境のデプロイと管理の業務に関わるものとして特定されたタスクに基づいて、試験開発者と対象分野の専門家によって策定されます。

最初の策定プロセスが完了すると、これらの目標は、外部の実務担当者のグループを用いて検証されます。最終的に、各目標に対する問題数が決定されます。目標ごとの問題数は、職務のタスクの重要度に直結しています。

1.6 言語

試験は英語と日本語で行われます。

1.7 制限時間

試験の制限時間は120分です。

1.8 試験のスケジュールリングおよび受験

NCP-MCI 7.5試験は、リモートの試験監督官によるリモートプロクタリング方式、または所定のテストセンターで受験する対面方式で実施されます。

リモートプロクタリング方式を選択する場合、試験に申し込み、有効な身分証明書を提示すると、各自の受験場所でウェブブラウザを使用して受験する方法について案内が送付されます。試験はリモートで監督されるため、ロックダウンされ、監視された、安全な受験環境が提供されます。

対面の試験を選択する場合、お近くのテストセンターを選択できます。試験当日は、政府機関発行の有効なIDを持参し、試験開始時間の15分前までにテストセンターにお越しください。

1.9 認定トラック

NCP-MCI 7.5試験は、Nutanixマルチクラウドインフラストラクチャトラックのコアコンポーネントです。この試験に合格すると、NCP-MCI 7の認定資格を取得することになります。

認定資格を取得するには、試験で合格スコアに達する必要があります。コースの受講は必須ではありませんが、Nutanixは、試験の目標を網羅するトレーニングを実施しています。推奨されるトレーニングコースの詳細は、[セクション4](#)をご覧ください。

1.10 再受験ポリシー

初回の受験で不合格となった場合、2回再受験できます。再受験まで7日間の待機期間が設けられています。初回の受験と同様に、試験ごとに受験料のお支払いが必要になります。再受験まで十分に準備の時間を確保し、最も合格を狙える状態で受験することをお勧めします。

注：3回受験すると、60日間受験できなくなります。その後、university@nutanix.com宛てにメールで連絡し、受験回数のリセットを要請することができます。

この間に、本ガイドと関連資料を十分に確認したり、推奨されるトレーニングを受講したりすることをお勧めします。

1.11 試験のセキュリティ

Nutanixは、試験のセキュリティポリシーに違反する受験者の認定を拒否する権利を留保します。試験教材を複製および再配布する、試験中に各種教材を使用する、試験問題を撮影しようと試みる、虚偽の身分証明書を使用して受験するといった行為が違反に該当します。受験者の身分証明書は、試験申し込みプロセスの一環として記録され、有効性が確認されなければ、受験は認められません。

1.12 再認定

Nutanix認定プロフェッショナル - マルチクラウドインフラストラクチャー 7.5試験に合格し、NCP-MCI 7認定資格を取得すると、資格は3年間有効です。

認定のステータスを維持するには、既存の認定を更新するか、別の認定トラック内で同等のNCPレベルの試験に合格する、またはNCM-MCI試験に合格する必要があります。

1.13 認定のメリット

- ソーシャルメディアで共有可能なCredlyのデジタルバッジ
- シャツやマグカップなどを購入可能なNutanixストア (<http://store.nutanix.com>) のCertificationショップへのアクセス
- 将来の試験の開発にSMEとして参加する機会
- Nutanix .NEXTの参加割引

2. 対象者

NCP-MCI 7.5試験およびNCP-MCI 7認定は、約1年以上のホリスティックITインフラストラクチャーの経験および同等のNutanixの経験がある方を受験対象者として想定しています。

Nutanixのマルチクラウドプラットフォーム環境内でデプロイや、構成、移行、トラブルシューティング、拡張、および管理を適切に行える管理者や、エンジニア、オペレーター、ティア1または2のサポート担当者、ネットワークまたはセキュリティオペレーションセンターのエスカレーションエンジニアなどのIT人材が一般的な合格者となっています。

Nutanixエンタープライズクラウド管理（ECA）コースなどのトレーニングコースを受講すれば、合格できる可能性は高くなります。

3. NCP-MCI 7.5試験で対象となる目標

3.1 はじめに

受験者は、Nutanix認定プロフェッショナル – マルチクラウドインフラストラクチャー7.5の試験を受ける前に、Nutanixのマルチクラウドプラットフォーム環境内でデプロイや、構成、移行、トラブルシューティング、拡張、および管理を行うために必要な知識とスキルを身につけておくことが推奨されます。また、受験前に、[セクション4](#)に記載されているトレーニングコースを完了することも推奨されます。

NCP-MCI 7の認定資格では、受験者は以下のソフトウェアバージョンでテストを受けます。

- AOS : バージョン7.5
- AHV : バージョン11.0
- Prism Central : バージョンpc7.5

3.2 目標

受験に先立って、受験者は以下の各目標を理解しておかなければなりません。各目標、受験者が使用経験を積んでおくべき関連ツール、目標と関連のある情報が記載された参考文書が以下に挙げられています。なお、一部の文書には、サポートポータルからアクセスする必要があります。サポートポータルで使用するアカウントの作成については、[こちら](#)をご覧ください。

目標はすべて、以下に挙げられていない他の製品文書でも言及されている場合があります。受験者は、関連するすべての製品文書を十分に把握しておくか、同等のスキルを身につけておく必要があります。

セクション1 – マルチクラウド環境内のクラスタを管理する

目標1.1 : クラスタのデプロイと構成をする

知識

- 必要な構成の詳細を収集する
- 複数のデプロイ方法間の違いを区別する
- 必要な機能に基づいてCVMのサイズを選択する
- 必要なサービスを構成する
- ノードのイメージングを実行する

参考資料

- [コントローラVM \(CVM\) の仕様](#)
- [Foundation Centralのデプロイ](#)

- [マーケットプレイスの有効化](#)
- [CVMまたはFoundation VMからPhoenix ISOまたはAHV ISOを作成する方法](#)
- [フィールドインストールの概要](#)
- [時間同期に関する推奨事項](#)
- [Prism ElementにおけるOpenLDAP認証の構成](#)
- [Prism ElementにおけるActive Directory認証の構成](#)
- [仮想スイッチのワークフロー](#)
- [iSCSIデータサービスのIPアドレスの影響](#)
- [SMTPサーバの構成](#)
- [Foundation Centralのアプライアンスの概要](#)
- [イメージング用のベアメタルノードの準備](#)

目標1.2 : Prism Centralのデプロイと構成をする

知識

- [シナリオを踏まえてPrism Centralのデプロイメントを定義する](#)
- [必要な機能に基づいてPrism Centralのサイズを選択する](#)
- [Prism Centralをスケールする](#)
- [Prism Central内で機能を有効化する](#)
- [Policy Engineアプリケーションを理解していることを実証する](#)

参考資料

- [Prism Centralのデプロイメント](#)
- [Prism Centralのスケーラビリティ](#)
- [Prism Centralの拡張（スケールアウト）](#)
- [X-SmallのPrism Central](#)
- [Prism Centralのデプロイメントの制限事項](#)
- [非Nutanix環境におけるPrism Central](#)
- [Prism Elementクラスタへの複数のPrism Centralインスタンスのデプロイ](#)

- NTPサーバー設定の追加と構成
- Prism Centralのリソースチェックおよびリソースサイズ変更チェックの実行
- ポリシーエンジンの概要
- プロジェクトの管理

目標1.3 : ネットワーク管理を実行する

知識

- シナリオを踏まえて、（1つまたは複数の）仮想スイッチを構成する
- シナリオを踏まえて、仮想サブネットをデプロイする
- VPCの構成を選択する
- Flowのロードバランシングとトラフィックミラーリングを構成する

参考資料

- 仮想スイッチのワークフロー
- AHVホストのIPアドレスと、ネットワークマスク、およびゲートウェイの変更
- IPアドレスの管理
- ゲストVMインターフェイス用の基本VLANサブネットの作成
- RDMA機能のためのNIC互換性マトリックス

目標1.4 : クラスタのストレージを構成する

知識

- シナリオを踏まえて、ストレージ不足への対応策を判断する
- ストレージレジリエンシーに関する適切なユースケースを判断する
- 予約容量/予約スペースを使用すべきタイミングを判断する
- 現在のストレージの構成および使用率を判断する
- データレジリエンシーを適用する
- 外部ストレージとの統合について説明する

参考資料

- ストレージのコンポーネント

- 圧縮
- 重複排除
- イレイジャーコーディング
- 1つのクラスタ内における複数のNutanixノードの混在
- クラスタのフォルトトレランスレベルの向上
- イレイジャーコーディングに関するベストプラクティスと要件
- 共有ストレージコンテナの作成
- ファイルシステムのホワイトリストの構成
- 容量予約に関するベストプラクティス
- 容量予約の再構築
- ごみ箱

目標1.5：クラスタのセキュリティを管理する

知識

- 以下のようなAOS/Prism Centralのセキュリティ問題をトラブルシューティングする：
 - nCLIを使用したハードニング
 - SSH/Bashの無効化
 - ファイルシステムのホワイトリスト
 - SSL証明書の実装
 - Nutanixのファイアウォールの要件
 - クラスタのロックダウンモードの説明
- 暗号化のオプションについて説明する
- ネットワークセグメンテーションを実装する
- Prism CentralのIAMと、RBAC、およびシステムアカウントを構成する

参考資料

- Prism Elementにおけるクラスタロックダウンの構成
- CVMのセキュリティのハードニング
- Prism Centralをインストールするための前提条件

- Prism CentralにおけるCA署名付きSSL証明書のインポート
- ファイルシステムのホワイトリストの構成
- サービスアカウント
- 静止データ（DAR）暗号化（ソフトウェアのみ）
- マイクロサービスのインフラストラクチャーの前提条件と考慮事項
- vTPMと外部KMSとの統合
- Prism Centralにおける外部鍵管理サーバー
- 鍵管理サーバー（KMS）に関する考慮事項
- Prism Elementにおけるクラスタのロックダウン
- クラスタロックダウンモードの有効化
- セキュリティ構成管理自動化の実装

セクション2 - マルチクラウド環境内のワークロードを管理する

目標2.1 : VM管理を実行する

知識

- VMの構成を更新する
- VMのポリシーを更新する
- クラスタ内およびクラスタ間でVMのマイグレーションを実行する
- NGTを更新する
- ゲストカスタマイズプロファイルの使用方法について説明する
- スナップショット/復旧ポイントからVMをクローン/復元する
- VMエージェントの使用方法について説明する

参考資料

- 前提条件
- VM（AHV）の作成
- Prism Central（AHV）を通じたVMの更新
- VMテンプレート機能の制限事項
- ゲストカスタマイズプロファイル

- GPUとvGPUのサポート
- メモリのオーバーコミット
- 再利用可能になったメモリの安定状態の理解
- セキュアブートに関する考慮事項
- AHVの概要
- AcropolisにおけるVMの高可用性
- VM-ホストアフィニティポリシー
- VM-VMアンチアフィニティポリシー
- ボリュームグループにおけるvDiskのロードバランシングの有効化
- クラスタ内におけるマイグレーション
- 複数ストレージコンテナ間におけるライブvDiskマイグレーション
- ストレージのクオリティ・オブ・サービス (QoS)

目標2.2 : コンテナ管理を実行する

知識

- ストレージ節約のユースケースを特定する
- ストレージポリシーを定義する
- コンテナのストレージタイプを定義する
- イメージ管理ポリシーを定義する

参考資料

- [ストレージコンテナの管理](#)
- [ストレージポリシーの管理](#)
- [ストレージコンテナの作成](#)
- [共有ストレージコンテナの作成](#)
- [ストレージコンテナの制限事項](#)
- [クラスタのフォルトトレランスの管理](#)
- [圧縮](#)
- [重複排除](#)

- [帯域幅調整ポリシーに関する制限事項](#)

目標2.3 : ワークロードのストレージを管理する

知識

- シナリオを踏まえて、適切なvDiskのタイプを選択する
- ワークロードの要件に合わせてVMのストレージを変更する
- vDiskのライブマイグレーションを実行する
- ボリュームグループを管理する

参考資料

- [ストレージポリシーの管理](#)
- [Nutanix AHV VMディスクの構成](#)
- [ベストプラクティスのチェックリスト](#)
- [共有ストレージコンテナの作成](#)
- [外部ストレージ](#)
- [VM \(AHV\) の作成](#)
- [複数ストレージコンテナ間におけるライブvDiskマイグレーション](#)
- [ボリュームグループの作成](#)
- [サポートされるVolumesのユースケース例](#)
- [相互CHAP認証の構成](#)

目標2.4 : VMのワークロードを変換する

知識

- VirtIOをインストールする
- VMのマイグレーションシナリオを特定する
- VMのマイグレーション方法について説明する
- サポートされているソースとターゲットのプラットフォームを特定する
- VMの変換に使用するNutanixのツールについて説明する

参考資料

- Nutanix VirtIOを使用したAHVにおけるWindows VMの作成
- Nutanix Moveの概要
- マイグレーション計画の作成
- セキュリティポリシーのマイグレーション
- サポートバンドルのダウンロード (UI)
- サポートバンドルのダウンロード (CLI)

目標2.5 : ワークロードを保護する

知識

- VM上でvTPMおよび/またはセキュアブートを有効化する
- シナリオを踏まえて、ストレージポリシーを通じてVMレベルの暗号化を構成する
- シナリオを踏まえて、マイクロセグメンテーションポリシーを適用する
- Security Centralの機能を使用して環境を分析する
- 承認ポリシーを作成する

参考資料

- セキュアブートに関する考慮事項
- 仮想Trusted Platform Module (TPM) を使用したVMの構成
- 既存VMにおける仮想Trusted Platform Module (TPM) の有効化
- セキュアブートを有効にしたVMの作成/更新
- vTPMを使用したAHV VMの作成 (aCLI)
- AHVにおけるWindows Defender Credential Guardのサポート
- 隔離環境のポリシーの構成
- アプリケーションスイッチャーの機能
- Nutanix Cloud Managerの概要
- STIGポリシー
- セキュリティポリシーのモデル
- ポリシーの種類
- セキュリティポリシーの組み込みカテゴリ

- ストレージポリシーベースの暗号化
- ストレージポリシーの作成
- ストレージポリシーのコンプライアンス
- 承認ポリシーの条件

セクション3 - マルチクラウド環境でDRとデータ保護を実行する

目標3.1 : Prism Centralの保護と復旧をする

知識

- サポートされているバックアップの種類とバックアップの場所について説明する
 - PCBRの継続バックアップについて説明する
 - PCBRのポイントインタイム (PIT) バックアップについて説明する
- PCインスタンスのマイグレーションについて説明する
- 復元後の要件/推奨事項を特定する
- PCBRの復旧プロセスについて説明する

参考資料

- Prism Centralのバックアップおよび復元の実装に関する考慮事項と制限事項
- Prism Centralのバックアップおよび復元の要件
- Prism Centralのバックアップと、復元、およびマイグレーション
- 復元後の考慮事項

目標3.2 : VMおよびボリュームのためにPrism CentralベースのDRを構成する

知識

- 非同期およびnear-syncの要件に準拠して構成する
- CCLMおよびOD-CCLMの要件に準拠して構成する
- カテゴリとポリシーを使用する
- SyncrepおよびMetroの要件に準拠して構成する
- コンテナのディザスタリカバリ要件に準拠して構成する

参考資料

- 非同期レプリケーションのための要件
- 同期レプリケーションのための要件
- 非同期レプリケーションスケジュールの構成
- オンデマンドクロスクラスタライブマイグレーション（OD-CCLM）の要件
- オンデマンドCCLMの実行
- クロスクラスタライブマイグレーションの制限事項
- VMのライブマイグレーションステータスの確認
- カテゴリの作成
- VMのリバート動作
- 手動によるエンティティの復旧 - リバート
- マルチサイトレプリケーションスケジュールの構成
- ディザスタリカバリのための仮想ネットワークの仕様
- セルフサービスによるデータ復元の有効化
- 保護ポリシーの作成
- コントローラVM（CVM）の仕様
- CVMの仕様 - ディザスタリカバリの場合
- ストレージのコンポーネント
- マルチクラウドスナップショットテクノロジー（MST）を使用したDR

目標3.3：Prism ElementベースのDRを構成する

知識

- 複数のクラスタにわたって保護ドメインを構成する
- フェイルオーバーのためのネットワークマッピングと構成について説明する
- PEでリモートサイトを構成する
- 計画的および非計画的なフェイルオーバーを実行する
- コンテナのマッピングについて説明する
- ESXiでのメトロの構成について説明する

参考資料

- [保護戦略](#)
- [非同期レプリケーションによるデータ保護（1時間以上のRP0）](#)
- [非同期レプリケーションスケジュールの構成](#)
- [非同期レプリケーションを用いたデータ保護の制限事項](#)
- [フェイルオーバーの実行](#)
- [リモートサイト（物理クラスタ）の構成](#)
- [ネットワークのマッピング](#)
- [Metro AvailabilityのWitnessオプション](#)

セクション4 – マルチクラウド環境で運用と監視を実行する

目標4.1：キャパシティを管理する

知識

- 成長に伴うキャパシティと、制限、およびリスクの予測と計画をする
- プロアクティブな監視とアラートを構成する
- リソースの最適化を判断する
- 障害や、DR、またはインシデントのシナリオを踏まえて、キャパシティをバリデーションする

参考資料

- [異種クラスタの管理](#)
- [容量予約の再構築](#)
- [高可用性予約のメモリ使用量への影響](#)
- [行動学習ツール](#)
- [容量構成の更新](#)
- [レジリエントキャパシティの警告閾値の構成](#)

目標4.2：プラットフォームとパフォーマンスを管理する

知識

- [ビジネス要件に従ってストレージQoSを構成する](#)
- [パフォーマンス警告の解決を自動化する](#)
- [VMのパフォーマンス結果を分析する](#)
- [監査ログを分析する](#)
- [システムログを使用してプラットフォームやパフォーマンスの問題をトラブルシューティングする](#)

参考資料

- [ストレージのクオリティ・オブ・サービス \(QoS\)](#)
- [個々のVMに対するQoSの設定](#)
- [ログの収集](#)
- [AHVにおけるAcropolisの動的スケジューリング](#)
- [アラートサマリビューへのアクセス](#)
- [アラートサマリビュー \(Prism Central\)](#)
- [アラートとイベントの監視 \(Prism Central\)](#)
- [Logbay](#)
- [NCCの健全性チェック : host_nic_error_check](#)
- [カスタムアラートポリシーの作成](#)
- [ログの収集](#)
- [AHVにおけるAcropolisの動的スケジューリング](#)
- [ストレージポリシーの作成](#)
- [Playbookのトリガー](#)
- [タスクの自動化 - プレイブック](#)
- [Playbookのトリガー](#)
- [監査の詳細ビューへのアクセス](#)
- [NCCの健全性チェック : LongRunningSubtasks](#)
- [サードパーティ製バックアップソフトウェアまたは非同期DRスナップショットスケジュールを通じてバックアップを実行した際のランダムなPrism Centralの再起動およびサービスのクラッシュ](#)

目標4.3 : クラスタのメンテナンスタスクを実行する

知識

- クラスタを拡張する
- クラスタからノードをイジェクトする
- NCCエラーの診断と対処をする
- LCMのプロセスを実行する
- LCMのアップグレードを計画する
- カスタムレポートを作成する

参考資料

- [前提条件と要件](#)
- [既存のAHVクラスタに追加する新しいノードの準備](#)
- [Prism Elementから接続済みサイトセットアップにおけるファームウェアとソフトウェアのアップデートの実行](#)
- [複数のノードの削除](#)
- [エラー：ノード削除不可：クラスタには使用可能なノードが5個以上必要](#)
- [Nutanix Cluster Check \(NCC\)](#)
- [NCCの実行 \(Prism Element\)](#)
- [ダークサイト方式に推奨されるアップグレード順序](#)
- [lcm_node_recoveryスクリプトを使用したLCMファームウェアアップグレードの失敗からのノード復元方法](#)
- [LCMの制限事項](#)
- [LCM DUOを使用したダークサイト環境におけるファームウェアとソフトウェアのアップデートの実行](#)
- [NCC健全性チェック：ec_enablement_check](#)
- [LCMの事前チェック：ESXiノードの「test_esx_entering_mm_pinned_vms」またはAHV ノードの「test_ahv_entering_mm_pinned_vms」の失敗](#)

4. NCP-MCI 7.5トレーニングの推奨事項

4.1 コースの推奨事項

Nutanixは、試験でテストされる目標に関するトレーニングを実施する複数のコースを提供しています。配信方法、価格など、本コースの詳細は、nutanix.com/trainingをご覧ください。

これらのコースの詳細は以下のとおりです。

- **Nutanix®エンタープライズクラウド管理 (ECA)** の実践的トレーニングでは、Nutanixのマルチクラウド環境のデプロイと、管理、およびトラブルシューティングについて学習します。

本コースは以下の目標を網羅しています。

- 仮想マシンの管理
- クラスタの管理
- ディザスタリカバリの構成
- データ保護の構成
- トラブルシューティング
- カスタム監視の実施
- リソース容量の管理

本コースは、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニングを受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、www.nutanix.com/universityをご覧ください。

- **Nutanix仮想化プロフェッショナルクイックスタート (NQVP)** は、Nutanixの認定管理者になるための短期集中型の1日プログラムです。仮想インフラストラクチャーの構成および管理や、ディザスタリカバリ、監視および分析など、いくつかの重要な分野に焦点を絞った実践的なトレーニングを通じて、Nutanix環境を自信を持って運用するために必要なスキルを習得できます。

本コースは以下の目標を網羅しています。

- Nutanixの基本コンセプト
- Nutanix環境の保護と整理
- Nutanixネットワーキングの構成
- 仮想インフラストラクチャーのプロビジョニングと管理

- Playbookによるタスクの自動化
- Nutanixクラスタの監視
- Nutanixのディザスタリカバリの使用
- NutanixへのVMのマイグレーション

本コースは、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニングを受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、www.nutanix.com/universityをご覧ください。

- **NCP-MCI試験準備コース**は1日の集中ワークショップで、エンタープライズクラウド管理（ECA）コースでカバーされている主要なコンセプトを学びます。また、ワークショップの最後に行われるNCP-MCI試験を受ける前に、各モジュールの試験問題の復習も行います。

本コースは以下の目標を網羅しています。

- マルチクラウド環境におけるクラスタの管理
- マルチクラウド環境におけるワークロードの管理
- マルチクラウド環境におけるディザスタリカバリとデータ保護の実施
- マルチクラウド環境における運用と監視の実行

本コースは、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニングを受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、www.nutanix.com/universityをご覧ください。

5. リソース

5.1 Nutanix Community Edition

Nutanix Community Editionは、Nutanixクラウドプラットフォームをデプロイできる無料の製品です。試験の準備をするために、ソフトウェアをダウンロードし、ご自身の環境を構築するには、[こちら](#)をクリックしてください。

5.2 テストドライブ

[こちら](#)をクリックして、Nutanix Community Editionを活用するハイパーコンバージドテストドライブを2時間使用することもできます。

5.3 Nutanix Community

Nutanix Communityで世界中のクラウドビルダーとつながり、業界のITプロフェッショナルから学んで、経験を共有しましょう。Nutanix Communityに、Nutanix認定資格専用のページがあります。[こちら](#)からアクセスできます。

5.4 その他のマルチクラウドインフラストラクチャーに関するリソース

その他のマルチクラウドインフラストラクチャーに関する豊富なリソースは[こちら](#)からご覧いただけます。

NUTANIX

+1 (855) 688-2649 | certification@nutanix.com | www.nutanix.com

©2026 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、および本書に記載されているすべての製品名とサービス名は、米国およびその他の国におけるNutanix, Inc.の登録商標または商標です。

本書で言及されているその他すべてのブランド名は、識別のみを目的としており、各所有者の商標である可能性があります。